

議事の経過・会議録の概要

会議名	河内長野市公共施設再配置計画策定検討委員会（第8回）
開催日時	平成29年7月24日（月）午前10時30分～午後0時30分
開催場所	市役所8階 801（東）会議室
出席者 （敬称略）	<p>【委員】 和田委員長、前田副委員長、甲斐委員、河原委員</p> <p>【職員（事務局側）】 小西総務部長、辻本資産活用課長 木谷資産活用課参事、内山資産活用課長補佐兼係長 鳩田資産活用課員、柴田資産活用課員</p> <p>【(株)総合計画機構】 2名</p>
傍聴人数	0名
会議の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 議事<ol style="list-style-type: none">1) これまでのまとめと確認2) その他3. 閉会

1. 開会

2. 会議成立の報告について

4名の委員出席により委員会の成立を報告。

(公共施設再配置計画策定検討委員会設置条例第6条第2項)

3. 資料の確認

- ・会議次第
- ・公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）に対するこれまでのまとめと確認

4. 議事

【委員長】

皆さまおはようございます。第8回河内長野市公共施設再配置計画策定検討委員会を始めます。

本日の議事は「公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）に対するこれまでのまとめと確認」ということとなります。

議事1. これまでのまとめと確認について

資料「これまでのまとめと確認」に基づき事務局から説明。

【委員長】

これまで、すべての施設についてご意見をいただきましたが、今まで意見があまりなかった部分、もう少し掘り下げたい部分について確認していきたいと思います。

とくに第1章、第2章は現状確認ということで意見があまりなかったこともあり、ご意見をいただければと思います。

議事2. 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）について（1）

公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）第1章について事務局から説明。

【委員長】

施設が膨大であるため、延床面積 300 m²以上のものを対象としたこと、計画期間を総合計画と合わせるということでした。

【委員】

重複する施設がたくさんあり、人件費等の問題もあると思いますが、活用できる施設についてはお金がかかっても、少し手を入れてみんなが使える施設になればと思います。

【副委員長】

300㎡ないし200㎡以上とされている地方自治体が多く、それ以下だと一般住宅並みの面積になり、維持費等それほど大きなお金はかからないと思われます。ある程度のところで面積を切り、必要に応じて修繕等で対応すれば良いと思ひます。そういう意味で、今回はその考え方で良いと思ひます。

【委員長】

委員会としては、皆さまの意見を踏まえて300㎡以上を対象とすることで基本的には良いです。ただし、小さい施設でも維持保全費、更新費といったランニングコストがかかりますし、重複施設もあるということですので、今後は考慮するという一文を入れてほしいと思ひます。また、計画期間を総合計画に合致する点については問題ないと思ひます。

学校の統廃合については、この計画には入れないということでしたが、今後人口減少に伴い小学校の統廃合の話が出て来ると考えられ、人口推移を鑑み、学校の統廃合についても考慮し、随時見直しをされるということをお願いしたいと思ひます。

議事3. 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）について（2）

公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）第2章について事務局から説明。

【委員長】

維持保全、更新費の算出について、市オリジナルの手法でされたとの説明をいただきました。

以前、委員から予防保全の話が出ましたが、改めて強調しておきたい点として、大規模改修に関して、維持保全費の削減が見込める「減築」の視点が必要と考えます。

【副委員長】

事務局が説明されたように、一般的には30年で老朽化ということで大規模改修を考える、そこから手を入れてもう30年持たせて、建物は大体60年持つということです。しかしダメになるというわけではなく、そこでどうするかを考える時期として60年の考えがあると認めていただきたい。

総務省の試算ソフトは新築から60年を耐用年数としているため、3、40年放置した建物に事後保全という形で対応するのは一般的な自治体にはなじまないと思ひますが、今まで手を加えていない施設に対しては大量のお金が必要となり、計画的にどう進めていくかが課題です。30年間決められた修繕をやっていない建物に、今後何十年も維持するための管理費を簡易なLCCのスケジュールに頼るのはおかしいと思ひますが、その辺り、河内長野市ではどのように調整をされたのかを認めていただきたい。

【事務局】

現状の試算の上では、建物ができた時をスタートと考えており、これまで手を加えていなかったことについて考慮していません。なお、総務省の試算ソフトは、やってこなかったことに対してある程度の考慮があるようです。

【副委員長】

30年間何もしていない状態でスタートラインから仮に200億円が必要な状況で、平準化を考えるとと言っても、建物は古くなるのでお金をかけ続けなければならない。財源が伴っていないからといって、お金がないならやめれば良いという話でもない、お金のかけ方として、かけるべきところとかけないところをはっきりさせる必要があると考えます。古くなったからお金をかけていくという考え方ではお金が足りなくなってしまう。その辺を明確にしないと解決策が見えないので、市できっちり検討していただきたいと思います。

【事務局】

このたび対象施設の劣化度調査を実施しましたので、次回施設評価を作成する際には、今いただいたご意見もありますので、劣化度を考慮し、現状の施設状況も加味して取り組んでいきたいと考えます。

【委員長】

どこを基準に、今までのコストをどう反映させて計算するかで試算も変わってくると思いますので、前提をどうしたかを踏まえ、今後策定する計画を作っていただきたいと思います。

算出根拠は難しいところもありますが、財政状況や人口規模等が似た自治体を参考にし、経験値を踏まえるなど算出根拠を明らかにしていただければと思います。

近隣の市町村と比べて、河内長野市が積極的に取り組んでいるとアピールするためにも、事務局としてこう進めたいという部分を説明していただきたいと思います。また本委員会の検討内容ではありませんが、インフラ施設である公園についてもこの中でご説明いただきたいと思います。

議事 4. 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）について（3）

なぜ河内長野市でこうした取り組みを積極的に進めているか及び公園の今後の考え方について事務局から説明。

【委員長】

この委員会ではインフラ施設には触れず、学校についても議論から外すこととしたわけですが、議論はしていなくても、河内長野市では取り組んでおり、現状確認として書く

必要があるということで、事務局から説明いただきました。

消滅可能性都市の話は我々にも大きな衝撃を与えましたが、河内長野市では冷静に受け止めるとともに、先手を打つという意気込みがあり、これを受けて委員会としても反映していきたい気持ちです。理由として、河内長野市は典型的なベッドタウンとして非常に急速な発展をし、そして団塊の世代が一気に高齢化し市民税に頼っていた税収も他市に比べて激減し、基金の活用をしていくにも限界があるので効率的に公共施設をマネジメントしていかななくてはならない、ということが1章、2章のまとめということになります。

インフラ施設は無くせないという原則がありながらも、事故が起きては元も子もありません。国とのやりとりになってくると思いますが、しっかりやっていただくことが原則と考えます。

河内長野市の公共施設所有面積は多いわけではなく、むしろ平均的ですが、今後を見据えると急激なコスト増になってくるということを見越して、統廃合や縮減の話をしているということです。

【委員】

公園を減らす方向であるという話でしたが、公園の利用が少ないのは、公園ではいけないことが増えていることもあると思います。自由度が狭まって、がらんとした公園が多くなり、廃止しなくてはならなくなると思います。

早め早めの対策に取り組まれているのはとても良いことですが、今までと同じことばかりしては効果が薄いと思います。これまで補助金などの縛りがあって、したいけれど動けなかったこともあると思いますが、そういう縛りも突破するよう、民間の知恵を借りるなりして、大胆と思えるような取組みをしなければ、効果がなく、もったいないことになると思います。時期を早くすることと大胆な案を組み合わせたいと思います。

【委員】

色々な公園を回りましたが、広さが中途半端でしたいことができない、危ないから遊具が取り外されているということがあり、子どもたちも寄ってこないようでした。安全性を考えたら遊具を考える、楽しく遊べる場所を作らないと、屋内で遊んでばかりの弱い子が増えてしまいます。先ほども言いましたが、お金をかける所にはかけて、将来を担う子どもたちを育てていただきたいと思います。

【副委員長】

公園の使われ方もだんだん変わっていると思うので、色々なご意見を受けて改善していくべきだと思います。行政だけの時代ではなくなっているので、民間の力をお借りして管理運営についてもノウハウをいただくことが必要だと思います。

また、公共施設の面積が平均的ということで、確かに 2.43 m²/人は多くはありませんが、もう少し楽になろうと思うと 1.8 m²/人くらいでないと厳しいと思います。他との比較はするべきですが、単純に比較してどうというのではなく、それぞれ条件が違うので、条件を考えたらうで劣っているのか、優れているのか、見方の基準を考えずに勘違いして把握してしまうのが一番怖く、その辺りをお願いしたいと思います。

【委員長】

公園を減らすのは簡単ですが、管理運営について民間の知恵を入れた新たなやり方が求められます。どこの自治体も、公園は中途半端な広さで何もできないと荒地になっていて、でも管理はしないとダメなのでコストがかかっています。そうしますと、選択と集中で、ある程度の面積、行きやすいところは置いておいて、にぎわいを見せるのが良いかもしれません。

他市との比較はもちろんです、河内長野市として、にぎわいのある充実した公園であれば皆さんそこに集まる、満足度が高いのが大事だと思いますので、数だけでなく質の部分上げていくには、民間の知恵であったり、色々なしがらみや規制を外す英断であったりをぜひしていただきたいと思います。

議事 5. 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）について（4）

公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）第3章および他市の施設評価事例について事務局から説明。

【委員】

先ほど事務局からの説明で、縮減だけが目的ではないということを知り、市民としては安心しました。良い方向で残していくことはすごく良いと思います。

2次評価は市の所管課による評価ということで、以前説明のあった市民アンケート結果は別物と捉えられている気がしましたが、2次評価に市民の意向は反映されないのでしょうか。

【事務局】

2次評価は施設を所管している担当課に聞いた内容です。最終的な総合評価である3次評価の段階で市民アンケートを加味しています。文字での反映なので表現しにくいですが、一定の考慮はしているつもりです。

【副委員長】

他市の事例をたくさん出され、参考にされているのは良いことと思います。確かにポートフォリオはわかりやすく、市民や色々な方が理解しやすいように見える化することで評価していただけたらと思います。

また元々の考え方が、すべてを減らすのではなく、利用するものは利用していくとしているのは、一番大事なことだと思います。通常、行政は数値に頼って、お金がないからダメであるという結論を出してしまうことが多いと思いますが、そうでなく色々な意見を聞きながら要るものは要る、また河内長野市の地形から交通の問題もあり、すべてを無くしていくのではなく、前から言っていますが地域ごとのマネジメントが大切で、地域で必要なものを残してあげるという考え方を持って検討していただければと思います。

【委員長】

3章までのまとめとして、公共施設、学校、インフラと分類していますが別物でなく一体的に取り組むものとして、他市の手法も踏まえ、河内長野市として個々の施設評価ができあがっています。また、エリアごとに利用状況が異なりますし、特徴的な地形でもあることから、施設の重要性は、エリア、人口、年齢層等でも変わってくると考えます。今後自治体では、エリアごとの住居構成と施設との関係への考慮が重要になると思います。

議事 6. 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）について（5）

公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）第4章について。

【委員長】

これまで施設ごとの評価についてご意見いただきましたが、あまりご意見が出なかった子ども子育て総合センター（あいっく）、障がい者福祉センター（あかみね、あかみね分館）、市庁舎について施設評価、ご意見をいただきたいと思います。

【委員】

子ども子育て総合センターについては、立地的には便利なところにあると思うので、内容が充実していれば、利用者が減ることはないと思います。

【委員長】

施設利用の適正化と言う話もありましたが、やはり内容によるということでしょうか。

【委員】

預かってもらうというか、ちょっとだけ行くというイメージがあり、コンテンツが充実すれば皆さん来ると思います。それと同時に、内容が充実していればいるほど市がすべきなのかということはあるかと思いますが。

市直轄だと従来とあまり変わらない、似たような施設になってしまうと思われ、ショッピングセンターが隣接しているということもあり、おもちゃ屋等と連携しても良いの

ではないかと考えます。

【委員長】

そういう画期的な意見を出していただくことが非常に大事です。立地があんなに良いのにもったいない気がします。

【委員】

あいつくは他市からの利用もあると聞きましたが、ここは市の方だけでなく他市の方の利用も無料なのですか。

【事務局】

子育て支援や相談以外は他市の方も無料です。

【委員】

市に住んでいれば税金を納めているので無料でも良いと思いますが、他市の方はそういうことが無いのに無料なのはひとつ問題かと思えます。

仕切られた部分もあって広さを感じない施設ですが、就学前の子どもが対象ということで、お母さん方が安心して遊ばせられて意見交換ができるという面で役立っているという気はします。駅前に移ったことで、以前に比べて行きやすくなったかと思えます。

【委員】

「総合センター」なので、小さい子だけでなく、勉強や遊び、色んな面があっても良く、そうすれば幅広く、利用者も増えると思えます。

【委員】

公民館で子育て支援をしていますが、そこで意見交換をしてこちらに来るということもあるみたいです。お母さん方は、色んな子育ての知識を得たいので、もう少し充実させられると良いと思えます。

【委員長】

立地が良いのに活かしていない施設として、ご意見をいただきましたかったので、参考にさせていただければと思います。

障がい者福祉センターについてはどうでしょうか。

【委員】

「あおぞら」で同じようなことをされている気がします。

【事務局】

「あおぞら」は作業所で、水耕栽培などの作業を通じて障がい者の方の支援をしています。ここでは障がい者の方の訓練、また相談をしており、質的に異なります。

【委員】

調理室とか和室とかありますが、それほど人がいらっしやらないようです。健常者も焼き物などされていますよね。

【事務局】

指導員がいます。建物は市の物ですが、指定管理として社会福祉協議会が運営しています。

【委員長】

サービス面が落ちてしまえば元も子もありませんが、施設としてはどこに入っても問題なく、老朽化もしていることからどこかの施設に統合して、まったくそのままのサービスを提供できる、さらに施設によって他とコラボできるのであれば、今の施設、ハードを維持する必要は無いと考えます。

【委員】

機能を残して建物を統合できれば良いですね。機能は必要だと思います。

【副委員長】

必要なものは残すべきと考える中で、今の段階ではどこに移すかというのはなかなか難しいと思います。全体を整理していく中で、建物の空きの可能性があれば移ってもらう、将来的に学校の空き教室などが出てくればそこに入れていただくなど、ここに書かれているように再編という形で評価されているのであれば、その考え方でまとめていくと良いと思います。

【委員長】

委員会としてはソフトの部分を良い場所に移していくという方向でまとめたいと思います。

市庁舎について、ご意見はありませんか。

【事務局】

市庁舎については、去年、外壁のタイル張替のために足場をつけてやっており、今年度は1階の2カ所のトイレについて、大便器を全て洋式化する改修を予定しています。また空調について、集中的に冷暖房する機械とは別の個別空調の部分について去年一部

工事を実施しました。今年も空調の入れ替えを行うほかは、現状維持のための改修に取り組んでいます。

収入については、1階エレベーター前および来客用駐車場側の出入口付近で、案内表示の電光掲示板に広告を出してもらい、それぞれ毎年70万円程度いただいております。役所で収入を得る取組みを行っています。

【委員】

1階のソファを置いている所に作品を展示されていますが、あそこをもっと有効に活用できませんか。美術館的なもので入場料を得ても良いのではないかと思います。キックスが近く、重複している機能は無いと思いますが、どちらかに機能を集約しても良いのではないかと考えます。

【委員長】

キックスと庁舎との関連については、事務局も考えなくてはならないのではないかと思います。ITの発達等により、必ずしもここになくてはならないという機能も減ってきますし、もっとキックスを使う、または売却するなど、市役所とキックスのどちらも重要ですが、違った見方から施設を捉えなくてはならないということもあります。市庁舎は、これまで必要な業務をする場所としか捉えられていませんでしたが、他市でも、1階のスペースを市民の方がイベントや催しに活用するスペースとして使っています。分庁舎的にマンションの1階に役所が入っている市もありますし、市庁舎も多面的に考える必要があります。そういった考えを今から持っておくと動きやすいということもあり、ここでご意見をいただくと公共施設再配置計画に載せやすいということもありますので、ご意見いただければと思います。

【委員】

市庁舎として、貸館的な活用、会議室をお金をとって貸すことは考えられないでしょうか。キックスはお金を取って、色々な団体に貸しています。キックスを売るとなると図書館があり、難しいかと思います。

市役所ロビーを使ってよくコンサートをされているので、そういった発想を持って、場所を有効活用してはどうかと思います。

【委員】

一步踏み込んで収入が得られるようなことは考えられませんか。キックスでは大々的な催しをしていますので、市庁舎では少しお手軽なものをしてはどうかと思います。

【委員】

キックスのロビーは一般開放されていますが、夏になると単に涼む場所となっていて、

もっと有効活用できないかと思います。

【委員】

市役所の下で障がい者の方が訓練として喫茶店をされていますよね。

【事務局】

障がい者の訓練の場として使っていただいていたのですが、この4月からは閉鎖しており、今は次の運営事業者を募集しているところです。

【委員】

市庁舎で食事が充実しているとうれしく思います。食堂が話題になれば皆さんが来られるのではないのでしょうか。くろまろの郷で地場の野菜を活用しているので、連携して、学生がする食堂などがあればどうかと思います。

【委員】

松原市の市役所も障がい者の方と地域の方が連携して食堂をされていたと思います。

【事務局】

本市の食堂は社会福祉協議会に借りていただいてやっていました。

【委員】

どうして今は止まっているのですか。

【事務局】

キックスでも同様の運営をしていますので、社会福祉協議会の判断で1箇所にはされたようです。

【委員】

庁舎の上階の見晴らしが良いところで食べられたら良いのではないのでしょうか。市庁舎に関係ないお客さんが増えてしまいますが、わざわざ来たいということになると思います。財源確保の面からもせっかくの施設があるので活用してはどうでしょうか。

【副委員長】

色んな発想があるのは良いと思います。行政財産だから他に貸せないということは無く、総務省も庁舎を民間に一部賃貸することを許していると聞いています。お金を儲けていくという面で、職員が減るなど空き空間ができてくればフロア貸ということも考えていかななくてはならないと思います。また、1階など空いている場所について、もう少

し収入源になれば良い、それによって人が集まってくるのであればさらに良いことです。職員から色々な提案をいただきながら考えていただければと思います。

先ほどの子育てセンターあいくっについて、就学前の方が来られているということでしたが、親同士で話せる情報交換をする場がないと思います。私は6月から子ども食堂をしています、元々は小学生を対象にしようと考えていましたが、近くに保育園があり2歳児まで預かっていらっしゃるので、お母さんが子どもを預けて出かけて行き、帰りにこの食堂に寄って親子で食べて帰るというパターンができています。お母さんが他のお母さんと情報交換の場として利用されている状況を見ると、お母さん方が集まれる気楽に行ける場があればと思います。また、大学生が来てくれているので、大学生は子どもと接し、声かけや勉強もみてくれており雰囲気が変わってきています。駅前で色々な用途で色々なことができる場所がある、例えば三日市の窓口は市をPRする観光のための場所にする、この河内長野駅前のあいくっは子育てのための場所で立地条件の良い集まりやすい場所であることを売りにするなど、雑居ビルでは意味がなく、特徴を持ち色々な形で使える、このようなことも考え方の一つとして組み入れていくべきではないかと思い、言わせていただきました。

【委員長】

以前ご意見の少なかった3施設について、事務局では今日の意見を加えてご配慮いただければと思います。

それ以外の施設につきましては今までの委員会での意見を踏まえてとりまとめたいただいているとのことです。次回、グループごとにまとめた試案について事務局からご提示くださるとのことなので、引き続き事務局は作業をお願いいたします。

議事7. 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）について（6）

公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）目標設定について事務局から説明。

【委員】

財政から見た縮減が必要となる面積の実現は難しいということなので、その分収入を得ることがすごく大事だと思いますが、そういった面が少し弱い気がします。

【事務局】

市としては、元々の本市の1人あたり公共施設延床面積は決して多くないと考えていて、今後、人口が極端に減ると数値は上がりますが、それは他市においても同じなので気にしていません。財務的な観点を主軸に実現できないような目標を立てるのは良くないと考えていて、まずできることから取組んでいこうと考えて今回の計画を作りました。次に作る再配置計画は一回きりでなく、10年間という区切りを設けて、社会的な状況等が変わるたびに随時見直ししていくことを計画に書いており、一旦はこれで取組む、そ

れで新たな財源を確保する方法を考えながら、できないという答えが見えるようであれば、第二の計画に発展していきたいと考えます。今回の計画はとっかかりの、実現性の高いものから取り組みましょうという姿勢で作っています。

【委員】

河内長野市も高齢化が進んでいて、税金に関しては期待できない状況です。今の段階では、庁舎、ラプリーホール、キックスは残していく方向ということでしたが、中央に集めて周りの施設を統合していく方向で行かれた方が良い気がします。る一ぷらざも早めにキックスに入れてしまって、土地を売却するなども考えていかななくてはならないかと思えます。

【副委員長】

目標値を設けないというのは良いことだと思います。目標値を設けてしまって、目標に縛られるのは良くないですし、河内長野市は築年数が浅い建物が多く、維持管理費が他の自治体に比べて少ないので甘さがある部分があり、危機感が薄いと思います。大きな建物を残すということで、残し方の話もありますが、これも民間の力を借りていかななくてはならないと思うので、そういう考えからサウンディング調査を行い、そういう施設が今後民間で管理運営できるか、探りを入れていくことも大事であり、その辺りも考えていただければと思います。

【委員長】

河内長野市では数値目標でなく取組むべきところからということですが、そういうやり方で行くと、その取組みができなければ何も進まずじまいとなってしまうので、優先順位が大事だと思います。築年数の浅い施設と古い施設で、維持管理費のかかり方もかなり違ってくるところもあり、そうなってくると優先順位も変わってきます。一番陥りやすいのは、取組むべきことをやらずに終わることで、そうならないよう優先順位を付けられることをお願いしたいと思います。

もう一つ、緻密な公共施設再配置計画を立てられるのは大事ですが、何が起こるかわからないご時世、行政に求められているのは柔軟な対応だと思います。随時見直しをかけていくことは大事なことだと思います。作ってしまったものを変えられないと思わず、こだわらずに随時見直しを掛けていくことが大事で、柔軟に対応されるようお願いします。

2次評価について、所管する施設を守る姿勢を変えていただく、縦割りでなく横のつながりで考える、例えば、違う所管課とコラボすることで、施設を効果的に使っていたけるようにするなど、結局は職員の意識改革が重要になってくるかと思えます。

議事 8. 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）について（7）

【委員長】

第5章については次回も議論しますが、今日少しご意見をいただければ次回の議論につながりますので、今後取組んでいけばよいこと等、意見を出していただければと思います。

【委員】

近所の方が、自分が議員なら、坂道の多い地形を平らにするとされていて、無理だと思いますが、すごい発想だと思いました。都会の人は交通が充実していて、自転車も使えるので、ペーパードライバーが多いです。私が河内長野市に来た時は、坂道が多くて衝撃を受けました。財源を確保するために、新しく、若い人にどうすれば住んでもらえるかというところも入れてもらえればと思います。

【委員】

河内長野市は山を切り開いて新興住宅地にして人口が増えたという経緯がありますが、その人たちが年を取ってきています。若い頃は坂道も気にならず、歩くのも苦になりませんでした。年を取るとそういうわけにもいきません。

それなりに坂道があっても良いですが、平らな道路を広くするなど考えていかれればと思います。旧道はすごく狭く不便な部分があり、下水も100%にできないというところもあります。

生活面ではバスが無いと行けない部分がたくさんありますが、南の方ではバスも循環しておらず、三日市で乗り換えないと別の地区の拠点に行けません。運転できる方は良いですが、できない方は時間のロスになります。循環バスは同じ道を往復できないという決まりがあるらしく、南青葉台に上がると同じ道で降りて来なくてはならず循環ではないということで話が進みません。それをクリアすればすべてを回ることができる。一つのことにこだわり過ぎて、ある地域が損をするのはおかしく、平等であるべきと思います。小さいバスでも回していただければ、買い物などの利便性が良くなると思います。

【委員】

同居や近居など、両親が住んでいて戻ってこられる人を増やすのも良いと思います。空き家も結構あり、住んでもらうことが財源の確保につながると思います。

【委員長】

そういったことを答申に含めて、住みよいまちづくりをお願いしたいと思います。

【副委員長】

アクセスの話に関連して、可能性があるかわかりませんが、輪島市では、空き家の活用とゴルフカートを使った新交通システムを、国の補助金をもらって試験的にしているようです。乗車人数は限られていますが、エリアを決めてカートを走らせ、どこでも高齢者が手を挙げれば乗せてもらえます。循環でなく大きな車でもないですが、数人が乗られるゴルフカートの的なものでサービスをする、そういうのも一つの手かと思いました。

【委員長】

これからは高齢化で、交通手段がひとつ問題となっているようです。アップダウンのある都市だというのは皆さま同じ捉え方だと思います。

1章から5章まで、抜けているところ、議論が不足していたところを検討しましたが、5章はまた次回にご意見を出していただきたいと思います。

今日の内容を事務局の方でまとめ、次回8月末には全体を冊子にまとめていただき、それを見ながら第5章を深めていくということにしたいと思います。予定では9月に、全員で市長に答申案を出すというスケジュールにしたいと思います。

よろしく願いいたします。

【事務局】

次回開催は、公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）の第5章に関して及び河内長野市公共施設再配置計画策定に向けた答申案について議論いただきたく思います。

日程は8月31日（木）の午後2時からを予定しております。会場は本日と同じく801（東）会議室を押さえております。資料や案内につきましては後日、事務局から送らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

本日の委員会はこれを持ちまして閉会させていただきたいと思います。本日はどうも皆さまありがとうございました。

以上